

報道関係者各位

発行: アットホーム株式会社
分析: アットホームラボ株式会社**家賃動向 「定期借家物件」の募集家賃動向 (2020年度)**

1. 定期借家マンションの平均募集家賃は前年度比概ね上昇。特に千葉県では、全面積帯で上昇率が普通借家を上回る。
2. 定期借家アパートの平均募集家賃は、普通借家が全エリア・面積帯で上昇したのに対し、エリアや面積帯によって上昇・下落にバラつきが。
3. 首都圏の戸建における定期借家物件の平均募集家賃は、全エリアで普通借家を上回る。家賃差額の大きい東京23区では、普通借家と比べて建物面積が広く、築年数も新しい傾向に。

<調査概要>

不動産情報サービスのアットホーム株式会社（本社：東京都大田区 代表取締役社長：鶴森康史）の不動産情報ネットワークで消費者向けに登録・公開された、2020年度（2020年4月～2021年3月）の定期借家物件の募集家賃動向について、アットホームラボ株式会社（東京都千代田区 代表取締役：庄司利浩）に調査・分析を委託し、アットホームが公表するものです。

◆対象エリア

首都圏(東京23区、東京都下、神奈川県、埼玉県、千葉県)、および参考で宮城県仙台市、愛知県名古屋市、大阪府大阪市、福岡県福岡市

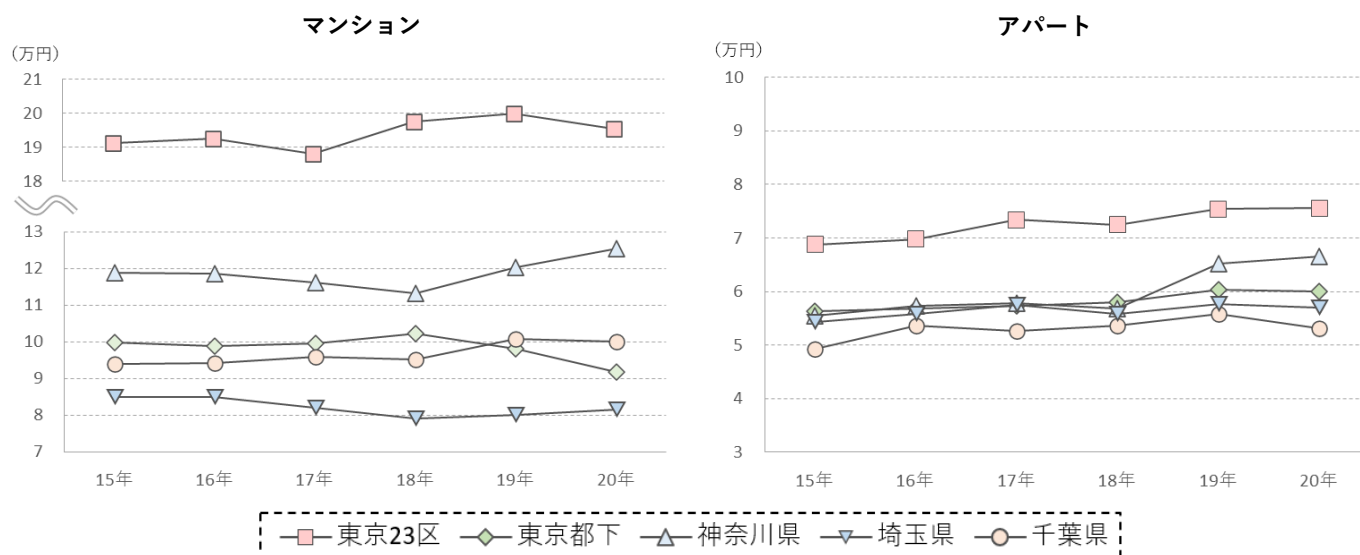
◆対象データ

不動産情報サイト アットホームで登録・公開された居住用賃貸物件（重複物件はユニーク化）

◆定義

- ・本調査では、入居者が1カ月に支払う「賃料+管理費・共益費等」を「家賃」としています。
- ・コメントでは、30㎡以下を「シングル向き」、30㎡～50㎡以下を「カップル向き」、50㎡～70㎡以下を「ファミリー向き」、70㎡超を「大型ファミリー向き」としています。

<首都圏の定期借家マンション・アパートにおける平均募集家賃の推移>



1. マンション概況（首都圏）

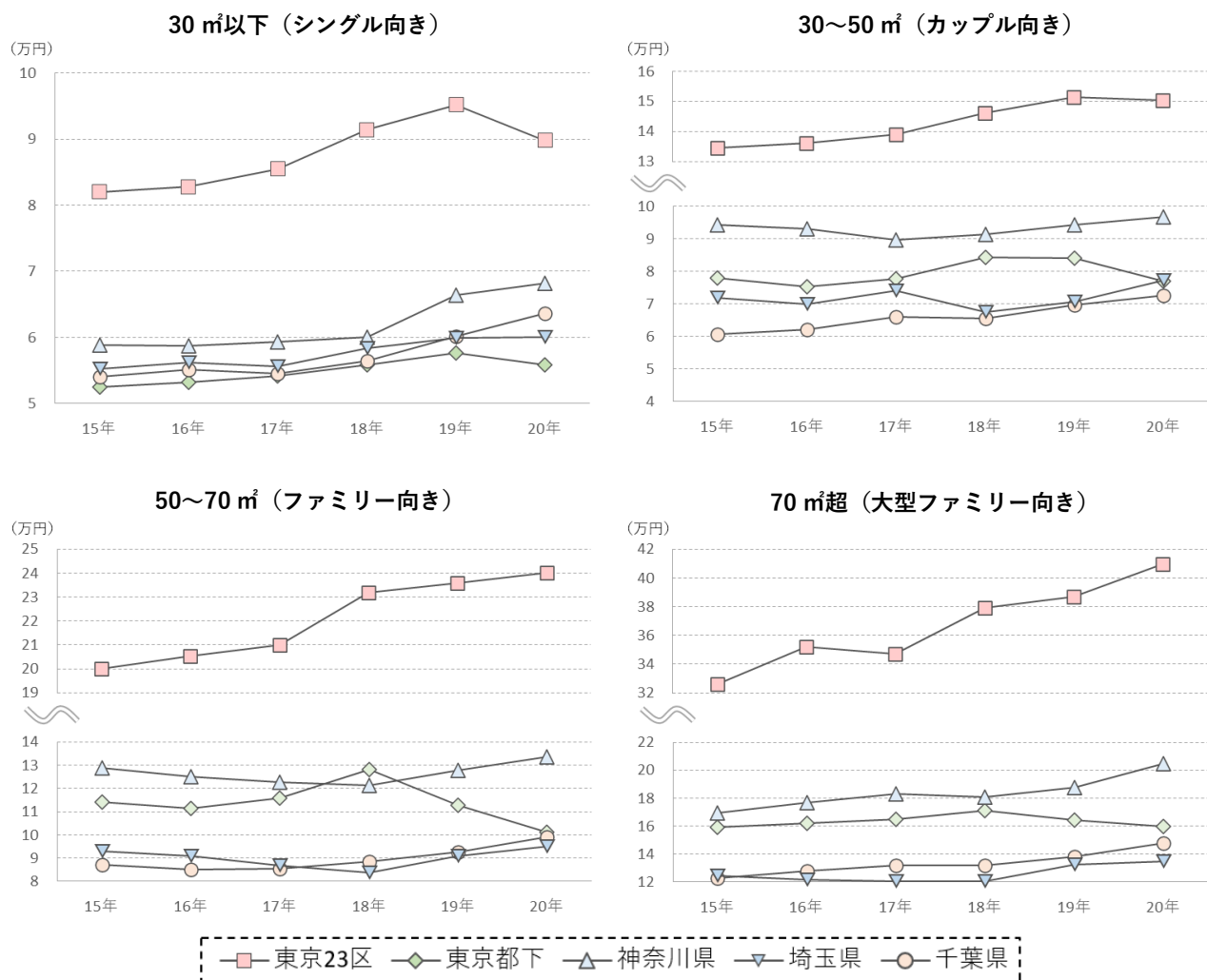
2020年度（2020年4月～2021年3月）の首都圏における定期借家マンションの平均募集家賃は、東京23区のシングル向き、カップル向き、および東京都下を除いて、前年度比上昇した（図表1）。上昇率を見てみると、千葉県では定期借家が普通借家を全面積帯で上回ったほか、東京23区、神奈川県、千葉県で大型ファミリー向き定期借家の上昇率が高くなっているのが目立つ（図表2）。

また平均家賃の比較では、全体的に定期借家のほうが高い傾向にあり、特に東京23区ではファミリー向きで約6万円、大型ファミリー向きで約12万円と差額が大きい（図表2）。

物件数を見ると、賃貸マンション全体に占める定期借家物件の割合は、各エリアとも前年度とほぼ変わらず、概ね5%未満だった。前年度比では、東京都下がほぼ全ての面積帯で定期借家物件が占める割合が増加しているのに対し、埼玉県では幅こそ小さいものの、ほぼ全ての面積帯で減少した（図表3）。

面積帯別では、広めの物件になるほど定期借家物件の割合が高くなる傾向は変わらず、中でも東京23区の大型ファミリー向きは25.2%と全エリア・面積帯の中で最も割合が高い状況が継続している（図表3）。

<図表1 平均募集家賃の推移（面積帯別）>

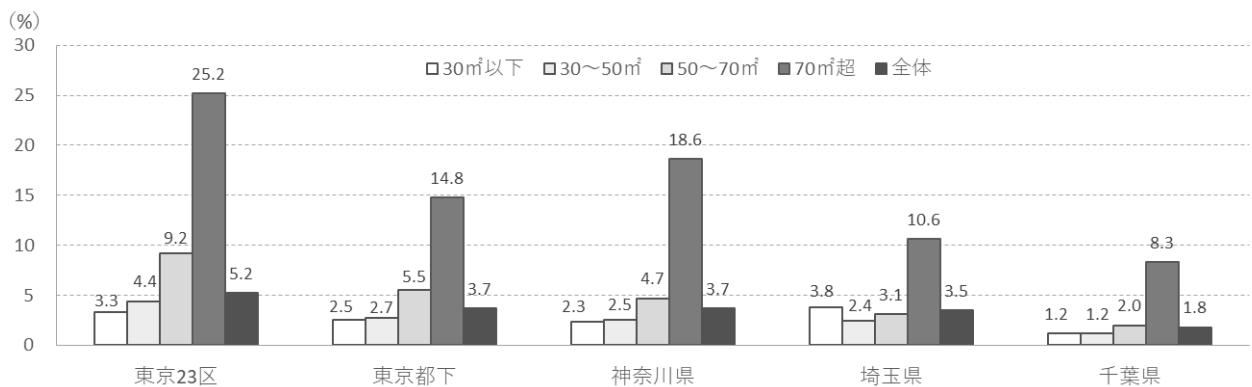


<図表2 賃貸マンションにおける定期借家と普通借家の平均募集家賃と前年上昇率および差額>

エリア	面積帯	平均家賃 (単位:円)		前年上昇率 (単位:%)		差額 (定借-普通)
		定期借家	普通借家	定期借家	普通借家	
東京23区	30㎡以下	89,827	89,243	▲ 5.6	▲ 0.3	584
	30~50㎡	150,261	131,867	▲ 0.7	1.2	18,394
	50~70㎡	240,186	180,656	1.8	0.9	59,530
	70㎡超	409,830	294,275	6.0	▲ 1.4	115,555
東京都下	30㎡以下	55,839	59,504	▲ 3.2	2.6	▲ 3,665
	30~50㎡	76,924	85,654	▲ 8.5	2.0	▲ 8,730
	50~70㎡	101,153	108,598	▲ 10.4	3.2	▲ 7,445
	70㎡超	159,986	148,257	▲ 2.5	1.5	11,729
神奈川県	30㎡以下	68,212	68,497	2.7	2.9	▲ 285
	30~50㎡	96,668	91,401	2.6	2.8	5,267
	50~70㎡	133,519	110,798	4.4	2.7	22,721
	70㎡超	204,733	166,571	9.2	4.9	38,162
埼玉県	30㎡以下	60,080	59,743	0.3	2.8	337
	30~50㎡	77,345	76,199	9.5	4.2	1,146
	50~70㎡	94,979	93,707	4.6	3.8	1,272
	70㎡超	134,550	127,721	1.6	3.4	6,829
千葉県	30㎡以下	63,633	62,192	5.6	2.0	1,441
	30~50㎡	72,646	78,274	4.4	1.3	▲ 5,628
	50~70㎡	98,977	96,212	6.9	3.5	2,765
	70㎡超	148,048	129,316	7.0	3.9	18,732

<図表3 賃貸マンションに占める定期借家物件の割合>

※ 割合 = 面積帯ごとの定期借家物件数 ÷ 面積帯ごとの全物件数



面積帯	東京23区		東京都下		神奈川県		埼玉県		千葉県	
	割合	前年度比	割合	前年度比	割合	前年度比	割合	前年度比	割合	前年度比
30㎡以下 (シングル)	3.3 %	0.1 pt	2.5 %	0.0 pt	2.3 %	0.0 pt	3.8 %	0.0 pt	1.2 %	0.1 pt
30~50㎡ (カップル)	4.4 %	0.1 pt	2.7 %	0.5 pt	2.5 %	0.3 pt	2.4 %	▲ 0.1 pt	1.2 %	0.1 pt
50~70㎡ (ファミリー)	9.2 %	▲ 0.6 pt	5.5 %	1.3 pt	4.7 %	▲ 0.2 pt	3.1 %	▲ 0.1 pt	2.0 %	0.1 pt
70㎡超 (大型ファミリー)	25.2 %	▲ 0.7 pt	14.8 %	1.2 pt	18.6 %	▲ 0.2 pt	10.6 %	▲ 0.3 pt	8.3 %	▲ 2.6 pt
全体	5.2 %	0.0 pt	3.7 %	0.4 pt	3.7 %	0.0 pt	3.5 %	▲ 0.1 pt	1.8 %	▲ 0.3 pt

2. アパート概況（首都圏）

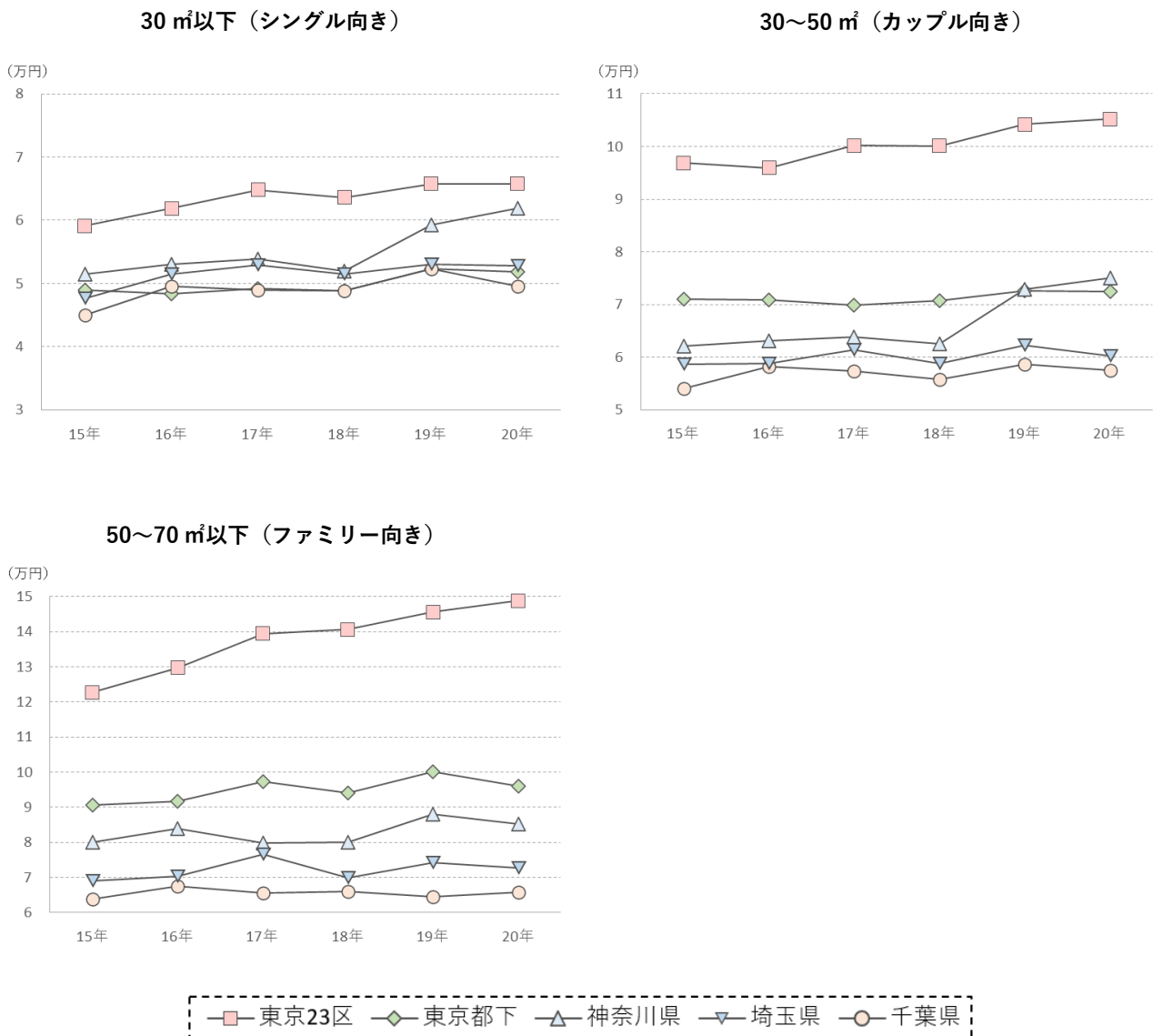
2020年度の首都圏における定期借家アパートの平均募集家賃は、エリアや面積によって前年度比上昇・下落のバラつきが見られた（図表4）。特に、東京都下と埼玉県では全面積帯で下落しており、全エリア・面積帯で上昇している普通借家と差が見られた（図表5）。

また平均家賃の比較では、マンションと異なりそれほど大きな差はないが、東京都下、埼玉県、千葉県では定期借家の家賃が普通借家よりも低い傾向にある（図表5）。

賃貸アパートに占める定期借家物件の割合は、いずれのエリアもシングル向きが最も多い。また前年度比は、マンションに比べると定期借家物件の占有率が減少したエリア・面積帯は少なかった（図表6）。

※ アパートの70㎡超は募集物件数が少ないため調査対象外

＜図表4 平均募集家賃の推移（面積帯別）＞

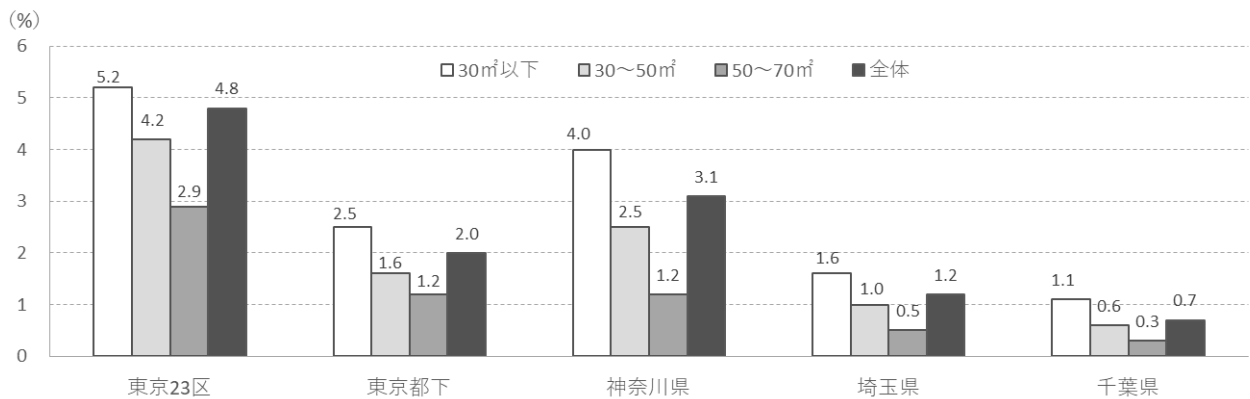


<図表5 賃貸アパートにおける定期借家と普通借家の平均募集家賃と前年上昇率および差額>

エリア	面積帯	平均家賃 (単位:円)		前年上昇率 (単位:%)		差額 (定借-普通)
		定期借家	普通借家	定期借家	普通借家	
東京23区	30㎡以下	65,840	67,751	0.0	1.2	▲ 1,911
	30~50㎡	105,196	102,132	1.0	2.1	3,064
	50~70㎡	148,798	130,283	2.2	2.1	18,515
東京都下	30㎡以下	51,872	54,593	▲ 0.8	1.5	▲ 2,721
	30~50㎡	72,431	76,884	▲ 0.2	1.1	▲ 4,453
	50~70㎡	96,100	93,233	▲ 4.0	0.9	2,867
神奈川県	30㎡以下	61,895	55,573	4.3	0.8	6,322
	30~50㎡	75,068	73,436	3.0	0.8	1,632
	50~70㎡	85,303	87,660	▲ 3.2	0.9	▲ 2,357
埼玉県	30㎡以下	52,822	52,601	▲ 0.5	2.8	221
	30~50㎡	60,321	65,087	▲ 3.0	1.3	▲ 4,766
	50~70㎡	72,813	77,193	▲ 2.0	1.2	▲ 4,380
千葉県	30㎡以下	49,609	51,969	▲ 5.2	3.1	▲ 2,360
	30~50㎡	57,506	64,342	▲ 2.1	1.8	▲ 6,836
	50~70㎡	65,810	78,145	1.8	2.5	▲ 12,335

<図表6 賃貸アパートに占める定期借家物件の割合>

※ 割合 = 面積帯ごとの定期借家物件数 ÷ 面積帯ごとの全物件数

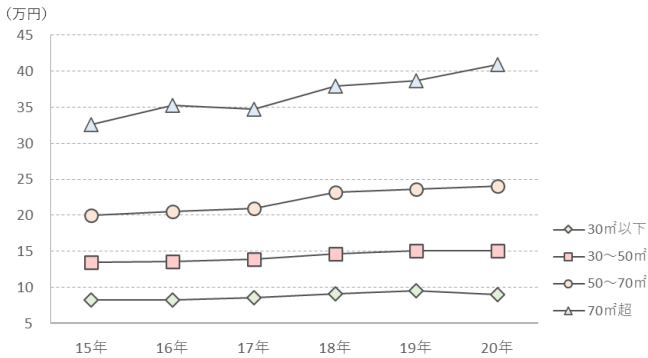


面積帯	東京23区		東京都下		神奈川県		埼玉県		千葉県	
	割合	前年度比	割合	前年度比	割合	前年度比	割合	前年度比	割合	前年度比
30㎡以下 (シングル)	5.2 %	0.5 pt	2.5 %	▲ 0.1 pt	4.0 %	0.4 pt	1.6 %	0.0 pt	1.1 %	0.1 pt
30~50㎡ (カップル)	4.2 %	0.5 pt	1.6 %	0.1 pt	2.5 %	0.2 pt	1.0 %	0.2 pt	0.6 %	0.0 pt
50~70㎡以下 (ファミリー)	2.9 %	0.4 pt	1.2 %	0.3 pt	1.2 %	▲ 0.4 pt	0.5 %	0.1 pt	0.3 %	0.0 pt
全体	4.8 %	0.4 pt	2.0 %	0.0 pt	3.1 %	0.2 pt	1.2 %	0.2 pt	0.7 %	0.0 pt

3. エリア別平均募集家賃

東京 23 区

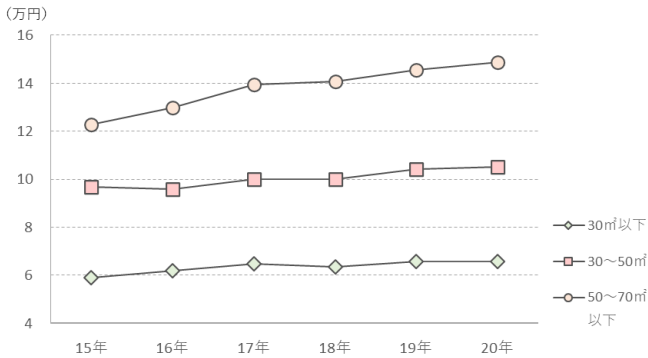
＜マンション 定期借家物件の平均募集家賃推移＞



＜マンション 定期借家と普通借家の平均募集家賃と前年度比＞

面積帯	定期借家		普通借家		差額 (定借-普通) 万円
	平均家賃 万円	前年度比 %	平均家賃 万円	前年度比 %	
30㎡以下 (シングル)	8.98	▲5.6%	8.92	▲0.3%	0.06
30~50㎡ (カップル)	15.03	▲0.7%	13.19	1.2%	1.84
50~70㎡ (ファミリー)	24.02	1.8%	18.07	0.9%	5.95
70㎡超 (大型ファミリー)	40.98	6.0%	29.43	▲1.4%	11.55

＜アパート 定期借家物件の平均募集家賃推移＞

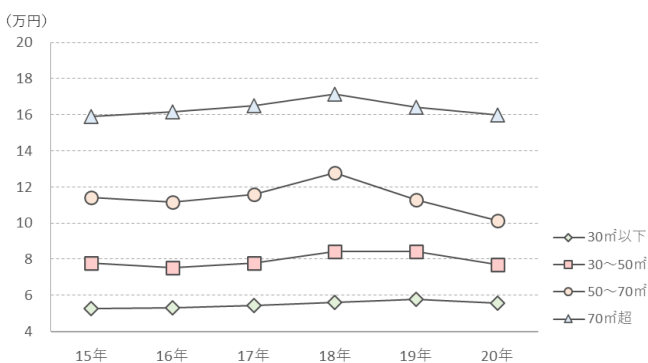


＜アパート 定期借家と普通借家の平均募集家賃と前年度比＞

面積帯	定期借家		普通借家		差額 (定借-普通) 万円
	平均家賃 万円	前年度比 %	平均家賃 万円	前年度比 %	
30㎡以下 (シングル)	6.58	0.0%	6.78	1.2%	▲0.20
30~50㎡ (カップル)	10.52	1.0%	10.21	2.1%	0.31
50~70㎡以下 (ファミリー)	14.88	2.2%	13.03	2.1%	1.85

東京都下

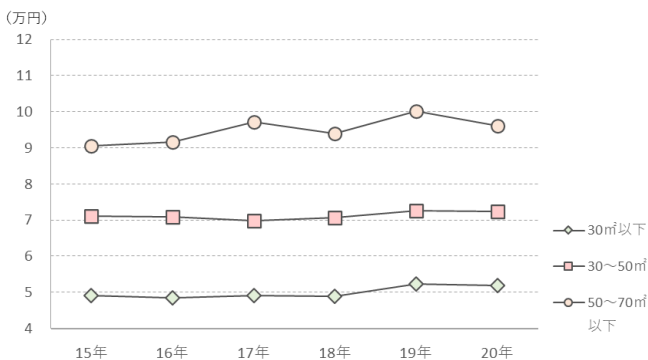
＜マンション 定期借家物件の平均募集家賃推移＞



＜マンション 定期借家と普通借家の平均募集家賃と前年度比＞

面積帯	定期借家		普通借家		差額 (定借-普通) 万円
	平均家賃 万円	前年度比 %	平均家賃 万円	前年度比 %	
30㎡以下 (シングル)	5.58	▲3.2%	5.95	2.6%	▲0.37
30~50㎡ (カップル)	7.69	▲8.5%	8.57	2.0%	▲0.88
50~70㎡ (ファミリー)	10.12	▲10.4%	10.86	3.2%	▲0.74
70㎡超 (大型ファミリー)	16.00	▲2.5%	14.83	1.5%	1.17

＜アパート 定期借家物件の平均募集家賃推移＞

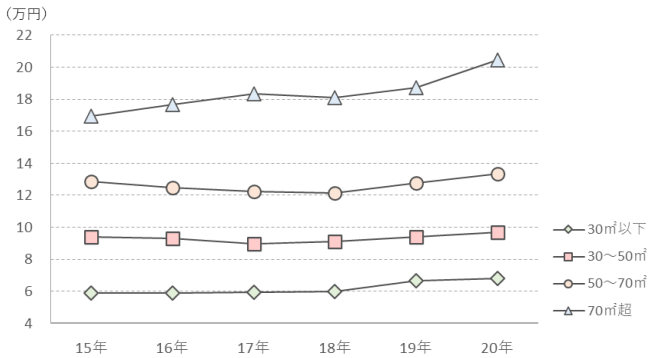


＜アパート 定期借家と普通借家の平均募集家賃と前年度比＞

面積帯	定期借家		普通借家		差額 (定借-普通) 万円
	平均家賃 万円	前年度比 %	平均家賃 万円	前年度比 %	
30㎡以下 (シングル)	5.19	▲0.8%	5.46	1.5%	▲0.27
30~50㎡ (カップル)	7.24	▲0.2%	7.69	1.1%	▲0.45
50~70㎡以下 (ファミリー)	9.61	▲4.0%	9.32	0.9%	0.29

神奈川県

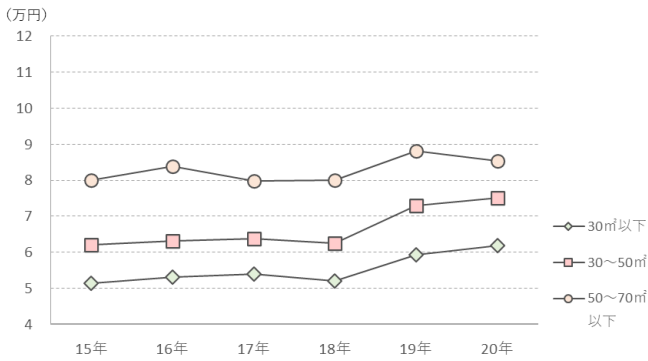
<マンション 定期借家物件の平均募集家賃推移>



<マンション 定期借家と普通借家の平均募集家賃と前年度比>

面積帯	定期借家		普通借家		差額 (定借-普通)
	平均家賃	前年度比	平均家賃	前年度比	
30㎡以下 (シングル)	6.82 万円	2.7 %	6.85 万円	2.9 %	▲0.03 万円
30~50㎡ (カップル)	9.67 万円	2.6 %	9.14 万円	2.8 %	0.53 万円
50~70㎡ (ファミリー)	13.35 万円	4.4 %	11.08 万円	2.7 %	2.27 万円
70㎡超 (大型ファミリー)	20.47 万円	9.2 %	16.66 万円	4.9 %	3.81 万円

<アパート 定期借家物件の平均募集家賃推移>

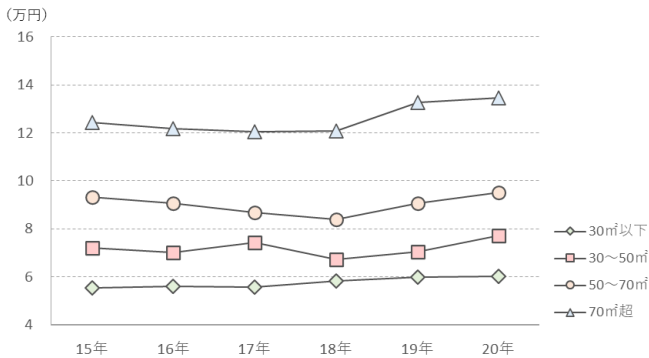


<アパート 定期借家と普通借家の平均募集家賃と前年度比>

面積帯	定期借家		普通借家		差額 (定借-普通)
	平均家賃	前年度比	平均家賃	前年度比	
30㎡以下 (シングル)	6.19 万円	4.3 %	5.56 万円	0.8 %	0.63 万円
30~50㎡ (カップル)	7.51 万円	3.0 %	7.34 万円	0.8 %	0.17 万円
50~70㎡以下 (ファミリー)	8.53 万円	▲3.2 %	8.77 万円	0.9 %	▲0.24 万円

埼玉県

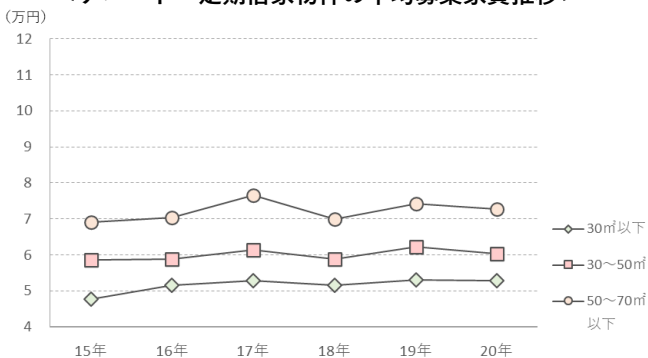
<マンション 定期借家物件の平均募集家賃推移>



<マンション 定期借家と普通借家の平均募集家賃と前年度比>

面積帯	定期借家		普通借家		差額 (定借-普通)
	平均家賃	前年度比	平均家賃	前年度比	
30㎡以下 (シングル)	6.01 万円	0.3 %	5.97 万円	2.8 %	0.04 万円
30~50㎡ (カップル)	7.73 万円	9.5 %	7.62 万円	4.2 %	0.11 万円
50~70㎡ (ファミリー)	9.50 万円	4.6 %	9.37 万円	3.8 %	0.13 万円
70㎡超 (大型ファミリー)	13.45 万円	1.6 %	12.77 万円	3.4 %	0.68 万円

<アパート 定期借家物件の平均募集家賃推移>

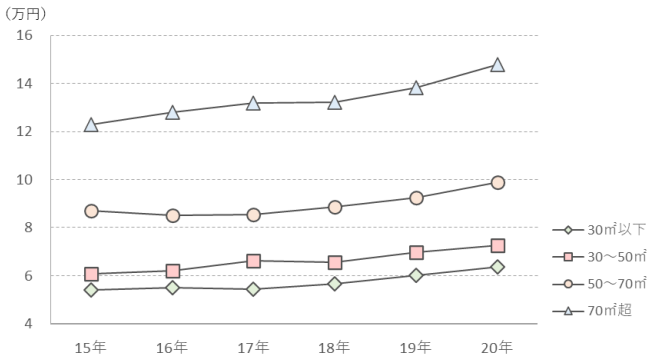


<アパート 定期借家と普通借家の平均募集家賃と前年度比>

面積帯	定期借家		普通借家		差額 (定借-普通)
	平均家賃	前年度比	平均家賃	前年度比	
30㎡以下 (シングル)	5.28 万円	▲0.5 %	5.26 万円	2.8 %	0.02 万円
30~50㎡ (カップル)	6.03 万円	▲3.0 %	6.51 万円	1.3 %	▲0.48 万円
50~70㎡以下 (ファミリー)	7.28 万円	▲2.0 %	7.72 万円	1.2 %	▲0.44 万円

千葉県

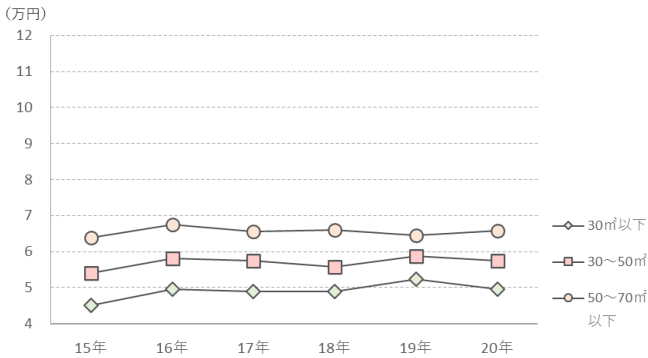
<マンション 定期借家物件の平均募集家賃推移>



<マンション 定期借家と普通借家の平均募集家賃と前年度比>

面積帯	定期借家		普通借家		差額 (定借-普通)
	平均家賃	前年度比	平均家賃	前年度比	
30㎡以下 (シングル)	6.36 万円	5.6 %	6.22 万円	2.0 %	0.14 万円
30~50㎡ (カップル)	7.26 万円	4.4 %	7.83 万円	1.3 %	▲0.57 万円
50~70㎡ (ファミリー)	9.90 万円	6.9 %	9.62 万円	3.5 %	0.28 万円
70㎡超 (大型ファミリー)	14.80 万円	7.0 %	12.93 万円	3.9 %	1.87 万円

<アパート 定期借家物件の平均募集家賃推移>



<アパート 定期借家と普通借家の平均募集家賃と前年度比>

面積帯	定期借家		普通借家		差額 (定借-普通)
	平均家賃	前年度比	平均家賃	前年度比	
30㎡以下 (シングル)	4.96 万円	▲5.2 %	5.20 万円	3.1 %	▲0.24 万円
30~50㎡ (カップル)	5.75 万円	▲2.1 %	6.43 万円	1.8 %	▲0.68 万円
50~70㎡以下 (ファミリー)	6.58 万円	1.8 %	7.81 万円	2.5 %	▲1.23 万円

4. 首都圏の戸建に見られる定期借家物件の特徴

コロナ禍以降、テレワークなど在宅時間が長くなったことで広さや部屋数を求める動きが増え、戸建に注目が集まっている。そこで今回は、首都圏のファミリー向き以上の居住用賃貸物件（50㎡超）の中で約1割を占める戸建においても、定期借家物件の特徴が見られるのか探ってみた。

戸建における首都圏の平均募集家賃を見てみると、いずれのエリアも定期借家が普通借家を上回っており、中でも東京23区はその差が5.87万円と最も大きい。また募集物件数の占有率（※）でも、27.8%と最も高くなっている（図表7）。

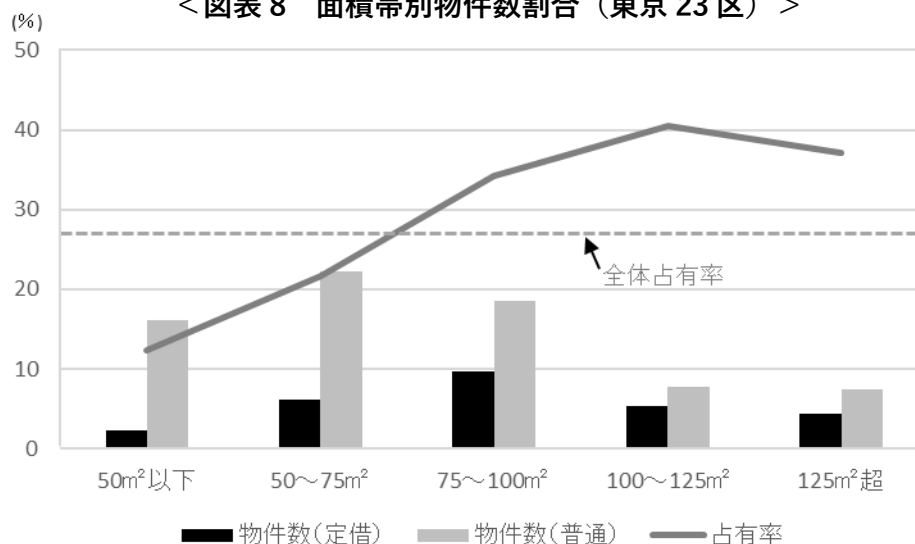
その東京23区における面積帯別物件数割合を見てみると、最も割合が高い面積帯は普通借家では50～75㎡なのに対し、定期借家では75～100㎡となっている（図表8・棒グラフ）。また面積帯別の定期借家物件の占有率は、75～100㎡以上の全ての面積帯で30%超と、全体の27.8%を上回っており（図表8・折れ線グラフ）、定期借家は相対的に広い物件に多いことが分かる。このことから、戸建において定期借家物件の平均募集家賃が普通借家より高い理由の一つは、建物面積にあると考えられる。

※ 占有率 = 定期借家物件数 ÷ (定期借家物件数 + 普通借家物件数)

<図表7 賃貸戸建における平均募集家賃と占有率（首都圏）>

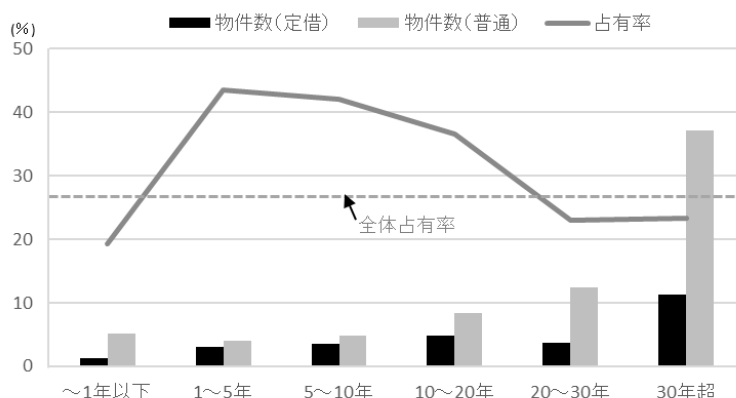
エリア	平均募集家賃		差額 (定借-普通)	占有率
	定期借家	普通借家		
東京23区	27.41 万円	21.54 万円	5.87 万円	27.8 %
東京都下	14.69 万円	11.88 万円	2.81 万円	23.1 %
神奈川県	13.63 万円	12.20 万円	1.43 万円	17.9 %
埼玉県	10.65 万円	8.72 万円	1.93 万円	10.2 %
千葉県	11.04 万円	8.08 万円	2.96 万円	8.2 %

<図表8 面積帯別物件数割合（東京23区）>



次に東京 23 区の築年帯別物件数割合を見てみると、最も割合が高いのは定期借家、普通借家ともに築 30 年超となっているが（図表 9・棒グラフ）、定期借家物件の占有率は、築 1 年～20 年以下の各築年帯で約 40%と高い割合になっており、比較的新しい物件が定期借家として募集されている様子がうかがえる（図表 9・折れ線グラフ）。

<図表 9 築年帯別物件数割合（東京 23 区）>

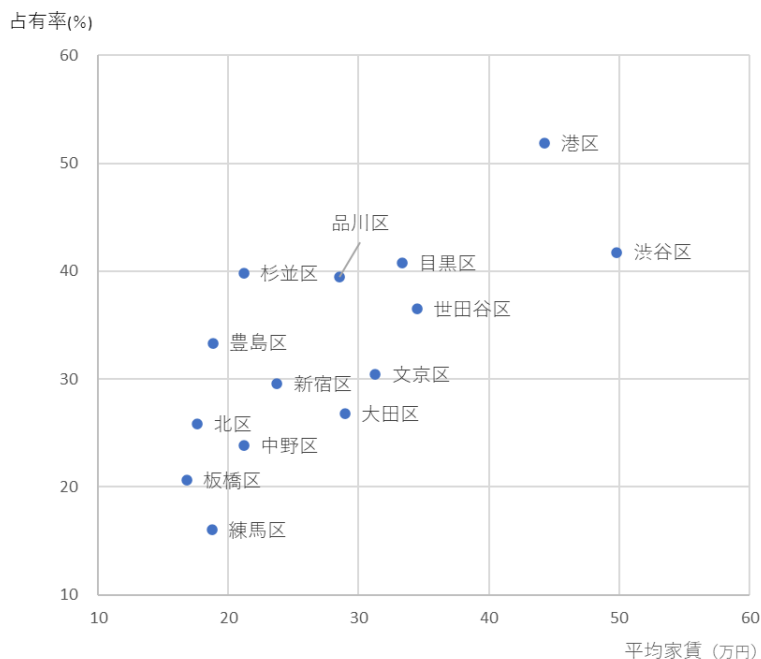


戸建の定期借家物件を取り扱っている不動産会社によると、転勤など何らかの事情で持ち主が一定期間住めないなどの理由のほか、主に高級住宅地などに所在する戸建物件は、滞納リスクの回避や資産価値を保護する観点から再契約可能な定期借家契約を用いているといった声や、相続対策等として建築した戸建を定期借家物件にしているといった声も聞かれ、定期借家にすることを前提に戸建を建築するといったビジネスモデルが一定数存在することも分かった。このような事情が、定期借家が比較的新しい物件に多い背景になっているようだ。

以上のように、定期借家は普通借家と比べると、建物面積が広く、新しい物件が多いため平均募集家賃が高いことが分かった。

また、図表 10 は東京 23 区において定期借家戸建物件数が多い 14 区について、定借物件の平均家賃と占有率をグラフにしたものであるが、家賃が高いほど定借割合が高い傾向にあることが分かる。前年度の本レポートで、高グレードのマンションが定期借家物件として多く募集される傾向があることを紹介したが、マンションだけでなく、戸建でも同様の傾向が見られるようだ。

<図表 10 定期借家戸建物件数上位 14 区の平均家賃および占有率>



参考：仙台市、名古屋市、大阪市、福岡市

<マンション 定期借家と普通借家の平均募集家賃と前年度比>

<仙台市>

面積帯	定期借家		普通借家		差額 (定借-普通)
	平均家賃 万円	前年度比 %	平均家賃 万円	前年度比 %	
30㎡以下 (シングル)	5.88	9.1	5.35	▲0.7	0.53
30~50㎡ (カップル)	7.09	18.2	7.04	0.3	0.05
50~70㎡ (ファミリー)	9.21	12.0	8.48	▲0.9	0.73
70㎡超 (大型ファミリー)	13.68	0.9	12.16	▲0.3	1.52

<名古屋市>

面積帯	定期借家		普通借家		差額 (定借-普通)
	平均家賃 万円	前年度比 %	平均家賃 万円	前年度比 %	
30㎡以下 (シングル)	5.84	2.8	5.89	0.9	▲0.05
30~50㎡ (カップル)	6.70	▲4.3	7.75	1.6	▲1.05
50~70㎡ (ファミリー)	9.94	7.5	8.99	1.9	0.95
70㎡超 (大型ファミリー)	16.48	3.2	14.02	2.8	2.46

<大阪市>

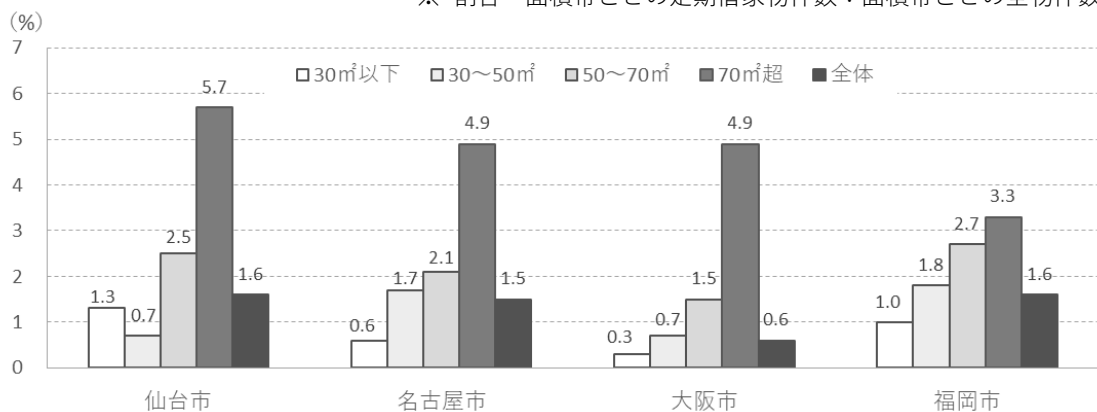
面積帯	定期借家		普通借家		差額 (定借-普通)
	平均家賃 万円	前年度比 %	平均家賃 万円	前年度比 %	
30㎡以下 (シングル)	5.62	7.9	6.12	▲0.8	▲0.50
30~50㎡ (カップル)	7.89	▲9.0	8.91	0.3	▲1.02
50~70㎡ (ファミリー)	15.01	▲5.5	11.75	▲0.3	3.26
70㎡超 (大型ファミリー)	20.43	▲3.2	19.19	0.6	1.24

<福岡市>

面積帯	定期借家		普通借家		差額 (定借-普通)
	平均家賃 万円	前年度比 %	平均家賃 万円	前年度比 %	
30㎡以下 (シングル)	4.41	5.0	4.97	▲1.2	▲0.56
30~50㎡ (カップル)	6.98	▲2.0	7.35	1.5	▲0.37
50~70㎡ (ファミリー)	9.17	▲5.4	9.16	2.0	0.01
70㎡超 (大型ファミリー)	17.83	13.4	14.16	2.2	3.67

<賃貸マンションに占める定期借家物件の割合>

※ 割合 = 面積帯ごとの定期借家物件数 ÷ 面積帯ごとの全物件数



面積帯	仙台市		名古屋市		大阪市		福岡市	
	割合	前年度比	割合	前年度比	割合	前年度比	割合	前年度比
30㎡以下 (シングル)	1.3 %	0.1 pt	0.6 %	▲0.5 pt	0.3 %	▲0.1 pt	1.0 %	▲1.3 pt
30~50㎡ (カップル)	0.7 %	▲0.7 pt	1.7 %	▲0.8 pt	0.7 %	▲0.4 pt	1.8 %	▲1.7 pt
50~70㎡ (ファミリー)	2.5 %	0.0 pt	2.1 %	▲1.4 pt	1.5 %	▲1.7 pt	2.7 %	▲5.1 pt
70㎡超 (大型ファミリー)	5.7 %	▲1.6 pt	4.9 %	▲3.5 pt	4.9 %	▲6.4 pt	3.3 %	▲8.8 pt
全体	1.6 %	▲0.2 pt	1.5 %	▲1.1 pt	0.6 %	▲0.5 pt	1.6 %	▲2.5 pt

【アットホーム株式会社について】

- 名称 アットホーム株式会社 (At Home Co.,Ltd.)
- 創業 1967 年 12 月
- 資本金 1 億円
- 従業員数 1,637 名 (2021 年 4 月末現在)
- 代表取締役社長 鶴森 康史
- 本社所在地 東京都大田区西六郷 4-34-12
- 事業内容
 - 1.不動産会社間情報流通サービス
 - 2.消費者向け不動産情報サービス
 - 3.不動産業務支援サービス
- 会社案内 <https://athome-inc.jp/>

【アットホームラボ株式会社について】

- 名称 アットホームラボ株式会社 (At Home Lab Co.,Ltd.)
- 創業 2019 年 5 月
- 資本金 3,000 万円
- 従業員数 10 名 (2021 年 4 月末現在)
- 代表取締役 庄司 利浩
- 所在地 東京都千代田区内幸町 1-3-2 内幸町東急ビル
- 事業内容
 - 1.人工知能領域に関する研究、開発、販売、管理
 - 2.コンピューターシステム、ソフトウェア、およびサービスの企画、開発、販売
 - 3.不動産市場動向の調査、分析
 - 4.不動産に関する新たな広告および取引手法などの調査、研究
- 会社案内 <https://www.athomelab.co.jp>

◆引用・転載時のクレジット記載のお願い◆

本リリース内容の転載にあたりましては、「アットホーム調べ」という表記をお使いいただきますようお願い申し上げます。

【本リリースに関するお問合せ先】

アットホーム株式会社 PR 事務局 ビルコム株式会社 担当:吉武
TEL:03-5413-2411 E-mail:athome@bil.jp

アットホーム株式会社 マーケティングコミュニケーション部 広報担当:佐々木・西嶋
TEL:03-3580-7504 E-mail:contact@athome.co.jp

【調査内容に関するお問合せ先】

アットホームラボ株式会社 データマーケティング部 担当:磐前(いわさき)・佐々木
TEL:03-6479-0540 E-mail:daihyo@athomelab.co.jp

この調査はアットホーム株式会社がアットホームラボ株式会社に分析を委託したものです。アットホーム(株)およびアットホームラボ(株)は本資料に掲載された情報について、その正確性、有用性等を保証するものではなく、利用者が損害を被った場合も一切責任を負いません。また、事前に通知をすることなく本資料の更新、追加、変更、削除、もしくは改廃等を行うことがあります。